

里山の自然と伝統を未来へつなげる！

穴水産「焙煎 鹿波椿茶」

鹿波椿保存プロジェクト



- 穴水町鹿波地区のヤブ椿が自生する群生林を、鹿波椿保存会が手入れを行い、里山保全に取り組むとともに、椿の葉を椿茶に商品化、椿の種子から椿油を採取し、景観保全と生業づくりを同時に実現。
- 地元の穴水高校生、東京の大妻女子大学生が生産者と連携し、製造・販売の体験、交流を通じて、環境に配慮した人材教育の一環としての取組も実施。
- 鋳物文化のある穴水町中居地区の伝統的な製茶方法を取り入れ、次世代への文化継承、持続可能な地域づくりを目指しています。

審査委員コメント

生産地・穴水と消費地・東京の産官学連携を通じて、椿自生地保護や製茶文化の伝承、関係人口の創出・拡大といった地域課題を、「椿茶」商品化により解決しようとする試みです。地域おこしの手本とも言える有意義な取組であり、地域の持続的発展に貢献している点を評価するとともに、今後も活動の輪が更に広がることを期待します。